

令和7年5月

義援金の御礼

令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨により被害を受けられました皆様に心よりお見舞申し上げます。

この度、日本ローイング協会様を通じ、全国のローイングファミリーの皆様から弊会に義援金を賜り、誠にありがとうございました。また、これまでも中部ローイング連盟様、関西ローイング連盟様、各県のローイング協会様からも義援金を、トータスコーポレーション様から浮棧橋のご寄付を賜っており、併せて御礼申し上げます。

これらの義援金は最も被害の大きかった七尾高校ボート部の艇庫、浮棧橋までの渡り棧橋、艇庫前のスロープが修繕されるまでの仮の簡易的な艇置き場の設置、艇等備品の修繕費用として、また、同校の活動拠点である七尾湾での練習ができなかった期間に津幡漕艇場まで通い練習を行った交通費として活用させて頂きました。浮棧橋は七尾高校艇庫前に設置させて頂き、お陰様で七尾高校ボート部は通常の活動を再開できております。今後は石川県津幡漕艇場の被災部の修繕費用等としても活用させて頂きます。

津幡漕艇競技場は現在、石川県及び津幡町により、破損した護岸部、配艇場の復旧作業が行われております。令和８年には津幡漕艇場で、全日本マスターズレガッタの開催を予定しており、全国のローイングファミリーの皆様とこの場でお会いし、石川ローイングの復興をご覧いただき、改めて感謝申し上げたいと考えております。これまでのご支援に対し、改めて感謝申し上げます。

末筆にはなりますが、震災・豪雨被害からの復興途上にあります能登半島の皆様の一日も早い復興をご祈念申し上げます。

石川県ローイング協会

会長 焼田宏明